

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月6日
東

上場会社名 サンコーテクノ株式会社
コード番号 3435
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 2020年11月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所
URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>
(氏名) 洞下 英人
(氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7178-6530
配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,545	△2.2	662	16.4	663	15.4	450	23.2
2020年3月期第2四半期	8,734	15.0	569	15.3	574	10.4	365	8.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 389百万円(4.3%) 2020年3月期第2四半期 373百万円(31.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	55.70	55.14
2020年3月期第2四半期	44.70	44.28

(注) 2020年3月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期第2四半期連結累計期間に係る各数値につきましては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,478	13,275	74.3
2020年3月期	17,651	13,086	72.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,987百万円 2020年3月期 12,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	26.00	26.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△2.7	1,170	△22.4	1,190	△22.2	800	△20.7	99.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	8,745,408株	2020年3月期	8,745,408株
2021年3月期2Q	657,043株	2020年3月期	665,541株
2021年3月期2Q	8,082,700株	2020年3月期2Q	8,175,890株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2020年11月27日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この説明会で使用する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による国内外の経済活動の停滞により、景気は急速に悪化いたしました。緊急事態宣言解除後は経済活動も緩やかな持ち直し局面に入りましたが、景気回復ペースは緩慢であり、依然として、非常に厳しい状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、緊急事態宣言の発令に伴い、一部の工事において中断等の措置が取られた影響がありました。インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられ、徐々に安定化傾向が見られるものの、感染症収束の長期化で、設備投資抑制の影響も引き続き見られることから、感染症発生前の水準への回復には時間を要するものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、「中期経営ビジョン2020」のもと、成長戦略のキーワードとして掲げる「安定供給」、「安定品質」、「市場創出」の一層の促進に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,545百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益662百万円（同16.4%増）、経常利益663百万円（同15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は450百万円（同23.2%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

① ファスニング事業

各種設備工事等の需要は、民間工事・公共工事ともに前年を下回る水準で推移しております。これに伴い、当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売は減少いたしました。また、インフラ関連を中心に完成工事高が増加したものの、ドリル・ファスナー製品の販売、海外売上高については減少し、総じて軟調な推移となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,322百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は766百万円（同2.2%減）となりました。

② 機能材事業

電動油圧工具関連の販売が、国内・海外ともに前年を下回る水準で推移したほか、電子基板関連、FRPシート関連及びアルコール検知器関連も減少いたしました。一方、2020年3月期第2四半期より新たに加わった、包装・物流機器関連の売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,223百万円（同3.2%増）、セグメント利益は292百万円（同50.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より172百万円減少して17,478百万円となりました。これは主としてたな卸資産が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より361百万円減少して4,203百万円となりました。これは主として未払法人税等及び長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より189百万円増加して13,275百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して46百万円（2.1%）増加し、2,241百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、420百万円（前第2四半期連結累計期間は646百万円の増加）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が660百万円に加え、減価償却費が159百万円、売上債権の減少額が385百万円となった一方、たな卸資産の増加額が253百万円、法人税等の支払額が281百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、104百万円（同387百万円の減少）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が86百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、290百万円（同200百万円の増加）となりました。これは主として長期借入金の返済による支出が76百万円、配当金の支払額が209百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年5月20日公表の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279,824	2,306,152
受取手形及び売掛金	3,709,586	3,318,043
たな卸資産	4,332,017	4,556,831
その他	433,711	462,476
貸倒引当金	△596	△189
流動資産合計	10,754,544	10,643,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,575,876	1,528,379
土地	3,427,894	3,425,374
その他(純額)	652,591	605,043
有形固定資産合計	5,656,362	5,558,797
無形固定資産	71,420	100,623
投資その他の資産	1,169,109	1,176,197
固定資産合計	6,896,892	6,835,618
資産合計	17,651,436	17,478,933
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,227,662	1,236,506
短期借入金	433,240	431,594
未払法人税等	292,432	214,711
賞与引当金	125,771	170,865
その他	700,546	444,650
流動負債合計	2,779,653	2,498,328
固定負債		
長期借入金	462,471	387,497
役員退職慰労引当金	15,065	15,186
退職給付に係る負債	1,144,499	1,143,710
その他	163,375	158,614
固定負債合計	1,785,410	1,705,008
負債合計	4,565,063	4,203,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,208	584,896
利益剰余金	11,445,725	11,687,998
自己株式	△326,872	△322,700
株主資本合計	12,468,651	12,718,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,127	19,653
繰延ヘッジ損益	40,483	25,493
為替換算調整勘定	274,910	223,848
その他の包括利益累計額合計	325,521	268,995
新株予約権	57,538	57,538
非支配株主持分	234,661	230,277
純資産合計	13,086,372	13,275,596
負債純資産合計	17,651,436	17,478,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,734,877	8,545,722
売上原価	6,092,924	5,995,664
売上総利益	2,641,952	2,550,057
販売費及び一般管理費	2,072,862	1,887,456
営業利益	569,089	662,601
営業外収益		
受取利息	650	859
受取配当金	1,797	1,929
仕入割引	14,886	14,769
為替差益	29,942	30,685
投資不動産賃貸料	10,800	6,104
持分法による投資利益	568	1,255
その他	17,537	10,889
営業外収益合計	76,183	66,492
営業外費用		
支払利息	1,531	1,823
売上割引	61,624	56,574
その他	7,474	7,469
営業外費用合計	70,630	65,866
経常利益	574,643	663,227
特別利益		
固定資産売却益	5	917
特別利益合計	5	917
特別損失		
固定資産除却損	5	196
役員退職慰労金	-	3,300
特別損失合計	5	3,496
税金等調整前四半期純利益	574,644	660,647
法人税等	205,612	205,793
四半期純利益	369,031	454,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,581	4,622
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,450	450,231

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	369,031	454,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,253	9,527
繰延ヘッジ損益	△10,930	△14,990
為替換算調整勘定	26,558	△59,980
その他の包括利益合計	4,374	△65,443
四半期包括利益	373,406	389,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,592	393,705
非支配株主に係る四半期包括利益	8,814	△4,294

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	574,644	660,647
減価償却費	159,160	159,003
のれん償却額	1,487	2,974
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,490	157
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,133	121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,122	44,894
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△701	△429
受取利息及び受取配当金	△2,448	△2,788
支払利息	1,531	1,823
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△917
固定資産除却損	5	160
売上債権の増減額 (△は増加)	412,256	385,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120,164	△253,488
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,715	10,021
その他	△160,730	△307,235
小計	881,817	700,457
利息及び配当金の受取額	2,493	2,878
利息の支払額	△1,670	△1,757
法人税等の支払額	△235,703	△281,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	646,936	420,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△5,008	19,996
有形固定資産の取得による支出	△55,303	△86,030
有形固定資産の売却による収入	5	1,263
無形固定資産の取得による支出	△2,408	△38,671
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△324,373	-
貸付けによる支出	△92	-
貸付金の回収による収入	2,127	561
その他の支出	△2,248	△1,806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△387,301	△104,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△74,889	-
長期借入れによる収入	581,112	-
長期借入金の返済による支出	△105,060	△76,620
配当金の支払額	△196,332	△209,991
非支配株主への配当金の支払額	△90	△90
その他	△4,095	△3,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	200,644	△290,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,993	21,526
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	495,273	46,264
現金及び現金同等物の期首残高	1,288,392	2,195,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,783,665	2,241,506

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,580,877	2,153,999	8,734,877	-	8,734,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,760	144,962	198,722	△198,722	-
計	6,634,637	2,298,962	8,933,599	△198,722	8,734,877
セグメント利益	783,949	195,082	979,031	△409,941	569,089

- (注) 1. セグメント利益の調整額△409,941千円には、セグメント間取引消去△2,696千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△407,245千円が含まれております。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機能材事業」セグメントにおいて、2019年6月30日をみなし取得日として成光産業株式会社及びその子会社である成光パック株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、のれんが29,748千円発生しております。

なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によるものです。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,322,544	2,223,177	8,545,722	-	8,545,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42,042	95,153	137,196	△137,196	-
計	6,364,587	2,318,331	8,682,919	△137,196	8,545,722
セグメント利益	766,845	292,585	1,059,430	△396,829	662,601

- (注) 1. セグメント利益の調整額△396,829千円には、セグメント間取引消去5,946千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,775千円が含まれております。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。